

# 洛水中だより

第1号 4月  
京都市立洛水中学校  
令和7年 4月10日



58名の新入生を迎え、全校生徒198名で令和7年度をスタートしました。教職員一丸となり、愛情と使命感を持って生徒たちの指導にあたります。

保護者の皆様方のご支援・ご協力を  
よろしくお願いいたします。

## 令和7年度の教職員のお知らせ

校長 杉本 貴信 教頭 田中 省吾



【1年】	担 任	学年付 (◎は学年主任)
1組	鷹阪龍文・田中理奈	◎橋元 信勝(社会) 南 隆泰(数学) 亀井 英治(通級) 荒川 祐未(音楽)
2組	笹木 美加(英語)	
3組	井之口 祐司(国語)	
【2年】	担 任	学年付
1組	鷹阪龍文・田中理奈	◎平井 幹太(国語) 川口 豊(数学) 加茂 智通(英語) 片岡 典子(美術) 坂井 真樹子(家庭)
2組	古田 翔平(保健体育)	
3組	稲端下 真帆(理科)	
【3年】	担 任	学年付
1組	鷹阪龍文・田中理奈	◎伊崎 亮介(保健体育) 佐田 朱見(数学) 川野 路乃(養護) 渡邊 俊和(技術) 能登谷 宏一(国語)
2組	松井 陽平(社会)	
3組	高乗 拓真(英語)	
4組	金沢 圭佑(理科)	

事務職員 宮治 吉隆  
管理用務員 黒田 清美  
LD等通級教室 亀井 英治  
スクールカウンセラー 細矢 育子  
スクールソーシャルワーカー 林 麻衣子  
図書館司書 北村 芳孝  
総合育成支援員 安藤 玲美  
総合育成支援員 田中 来美  
AI T イーグルストーン・マックス



部 活 動 名	顧 問 名	部 活 動 名	顧 問 名
バレーボール(男)	稲端下・亀井・(辻)	サッカー	南・古田
バレーボール(女)	加茂・亀井・(辻)	ソフトテニス(女子)	松井・鷹阪
バスケットボール(男子)	橋元・井之口	野 球	伊崎・高乗
バドミントン(女子)	川口・笹木	農園芸／美術	佐田・渡邊
卓 球	金沢・平井・(佐藤)	吹奏楽	田中理・荒川

### 令和7年度 部活動顧問配置について

生徒数の減少により、部活動に配置する教員数および活動に必要な(競技)生徒数が不足しております。今年度は1年生の入部意向をふまえ、活動が維持できない部活動については生徒と相談し、部員の募集停止もしくは夏以降の活動停止の措置判断をします。判断をした場合にはお知らせいたします。

### 令和7年度 学年分担制について

洛水中では普段から学年の生徒を学年の教師全体で見守っていることから、今年度は担任制を維持しつつも担任業務を学年で分担していくこととしました。毎日の連絡や健康チェックを始めクラスに関わる教職員を複数にして対応できるようにしていきます。家庭連絡も担任だけでなく学年の教員がご連絡いたします。今後の家庭訪問や教育相談、懇談等でご案内をする予定です。ご理解とご協力をお願いいたします。

### 「就学援助」及び「総合育成支援教育就学奨励費」制度のお知らせ

京都市では、お子さんが市立小・中学校へ就学するにあたり、経済的な理由によりお困りの保護者に対し、学用品費や給食費などを援助する就学援助制度を設けています。なお、市立小学校卒業時に就学援助の認定を受けていた場合、新規の申込は不要です。継続の案内は別途お知らせします。

※ 令和7年度より、多子加算ができる子の年齢が18歳未満から22歳未満に上がります。昨年度、不認定となった方も加算の要件に該当すれば認定できる場合がありますので、該当する方は学校にお申し出ください。

※ 様々なご事情により家計が急変する等、経済的な理由でお困りの場合は、収入状況の悪化がわかるものを提出いただくこと等により認定できる場合がある臨時措置を設けています。まずは、学校にご相談ください。

また、育成学級に在籍しているお子さんのご家庭や、普通学級に在籍し、総合支援学校に通う程度の障害があるお子さんのご家庭に対し、学用品費等の一部を補助する総合育成支援教育就学奨励費制度も設けています。

申込みの手続きやご相談・ご質問がある方は学校までお申し出ください。

## 令和7年度 学校教育目標:『社会で生きる力の育成』

### 目指す生徒像

■ 自ら考え、学びを活かす姿 ■ 自他への思いやりのある姿 ■ 視野を広げ、感性を磨く姿

### 目指す教職員像

■ 教科専門性と対話を通して、生徒の主体性を高める教職員(授業メソッドの統一と探究活動)

■ 愛情と豊かな感性で生徒を大切にする教職員

■ 生徒・保護者・地域とつながり、協働できる教職員

### 目指す学校像

■ 支え合い、高め合う、活気に満ちた学校

■ 地域の学校として、信頼される学校(安心・安全な学校と認められる学校づくり)

### 重点目標・具体的な取組

■ 主体的・対話的な学びの活用の育成に向けて

小中連携を意識した、読解力・表現力の向上と探究力の向上

■ 思いやりの心の育成に向けて

日常の学校生活で出会う人とのコミュニケーションやモノへの関わり方から心を育む

■ 視野や感性の広がりに向けて

考える機会(行事・体験活動)に素直な心の感動を表現できる力の向上

### 学校経営方針

■ 全教職員で「学校教育目標」を共有し「目指す生徒像」を達成する集団として活動する。

■ 分掌組織を機能的に運営し、相互啓発及び教科指導・生徒指導の一致を図り、改善に取り組む。

■ 学習指導・生徒指導・総合育成支援教育等すべての教育活動において、各主任のリーダーシップのもとに、学校体制で子どもの実態に即した活動を推進する。

### 今年度の重点目標

■ 「Teaching」の授業から「Learning」の授業への転換・・・読解力と表現力+探究力を重視した授業

■ ICTの効果的な活用(デジタル読解力と情報リテラシーの育成)・・・デジタル書籍+GIGA2の活用

■ 困りを抱える子どもへの継続的な支援・・・生徒指導と発達支援の両面からのサポートと別室の活用

■ 小中一貫教育の基礎・基本的な取組・・・小中の一貫した取組の発展

■ 働き方改革のさらなる向上・・・学年分担制による情報共有の実践とフレキシブルな対応

